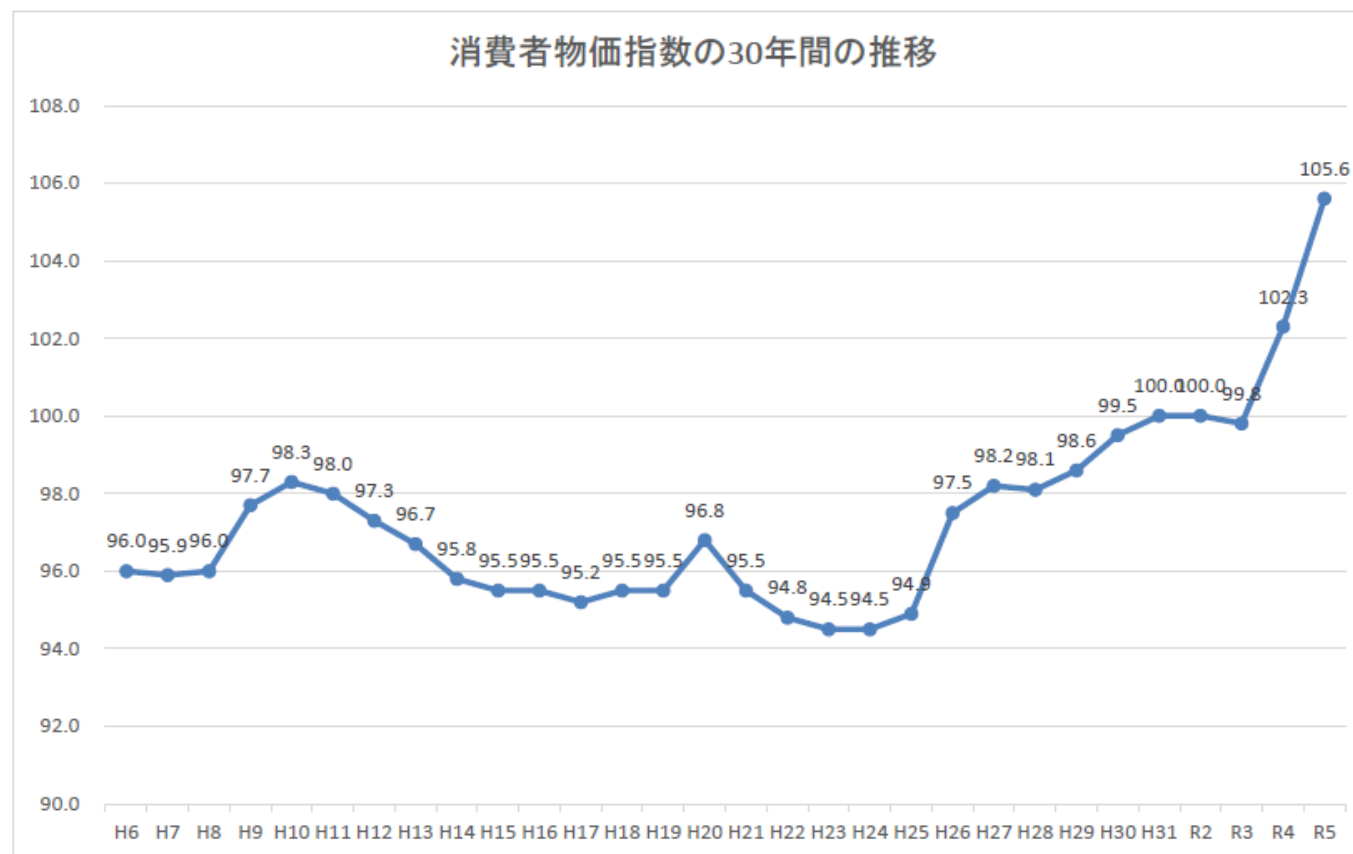


消費者物価指数（総合指数・2020年基準の時系列データ）の年平均の推移

年	和暦	平均
1994年	H6	96.0
1995年	H7	95.9
1996年	H8	96.0
1997年	H9	97.7
1998年	H10	98.3
1999年	H11	98.0
2000年	H12	97.3
2001年	H13	96.7
2002年	H14	95.8
2003年	H15	95.5
2004年	H16	95.5
2005年	H17	95.2
2006年	H18	95.5
2007年	H19	95.5
2008年	H20	96.8
2009年	H21	95.5
2010年	H22	94.8
2011年	H23	94.5
2012年	H24	94.5
2013年	H25	94.9
2014年	H26	97.5
2015年	H27	98.2
2016年	H28	98.1
2017年	H29	98.6
2018年	H30	99.5
2019年	H31	100.0
2020年	R2	100.0
2021年	R3	99.8
2022年	R4	102.3
2023年	R5	105.6



（出典：総務省『消費者物価指数（総合指数・2020年基準の時系列データ）』から作成）

【消費者物価指数とは】

消費者が購入する商品（財やサービス）について、物価の変化を総合的かつ客観的に表すもので、厚生年金や国民年金といった公的年金の給付水準は、前年の消費者物価指数の変化率を基準の一つとして調整される。ほかにも児童扶養手当額の改定や、土地の価格に係る修正率の算定などに用いられている。

[平成8年からの上昇率] 1.10

[平成16年からの上昇率] 1.11